

文協通信

第75号

2022.7.1

(発行)高野 宗佳

(一社)町田市文化協会

(編集)倉橋幸二

題字・平野南秋

ふみつきに思う

(一社)町田市文化協会会長 高野 宗佳



建仁寺管長 小堀泰巖 老大師筆

殊の外早い梅雨明けとなり定まらない天候をかこちおりますこの夏、皆様にはご清安にお過ごしの事と存じ上げます。

昨年7月発行予定でした文協通信は、コロナ感染拡大の影響を受け、事業の開催が出来ずお休みと致しました事を思い出します。その後はお陰様で、年間の事業はすべて開催し、定時社員総会も6月に通常通りに挙行する事が出来ました。定款改正後2年間、コロナ禍の影響を受け活動は儘ならない状況でしたが、今年は新たに事務局の充実を図る等、組織として一步前進する事が出来る存じます。引き続き当協会へのご支援を賜ります様、改めてお願ひ申し上げます。

扱、第44回市民文化祭は、市民ホール改修工事の為使用出来ませんが、ポプリホール鶴川・文化交流センター・市立国際版画美術館・まほろ座他、分散型で期間も長く、すでに始まっております。キャッチフレーズも「希望につなぐ」と決まりました。

つきましては町田市の文化芸術に向けての多大のご配慮はまことに有難く、財団及び関係各位のご協力にも心より感謝申し上げます。

市民文化祭は市民の為の文化祭であり、文化を広め町田市の文化力を上げるための活動であることを念頭に置き、希望を持って「流水無間断」、更に精励する所存でございます。非常事態が続く日々、社会の安寧を願いつつ、先ずはご挨拶とさせて頂きます。

ご挨拶

町田市文化スポーツ振興部部長 篠崎 陽彦

(一社)町田市文化協会の皆様には、日頃から、町田市の文化芸術の振興にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。私が市文化スポーツ振興部長着任のご挨拶を申し上げてから1年3ヶ月余りが経過しました。

この間、文化協会研修会、町田市民文化祭などにお招きいただき、皆様の精力的な取り組みに触れる機会をいただきました。この春からは、高野会長と意見交換をするときに、会長ご自宅茶室にお招きいただき、季節の移ろいを感じるとても貴重な体験をさせていただく機会がございました。その時に、気づいたことを紹介いたします。

お茶室でおもてなしをいただいた際に、高野会長から「残心」という言葉をお聞きしました。私が約30年続けている少林寺拳法でも、技が終わった後も気を緩めず相手の反撃に対して備える心構えのことを「残心」と言いますが、このことは、日常生活においても、気のゆみや油断せずに、心を残し、次に動ける態勢を整えることに生かせるとされています。そのとき、知らず知らずのうちに、自分自身も日本文化に接してきたのだということに気づかされたのです。

今後も、高野会長や文化協会の皆様と接する際に、新たな気づきがあるのではと思う今日この頃でございます。これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



令和4年度定時社員総会

6月12日(日)レンブラントホテル東京町田において総社員76名の内42名が出席(委任状提出27名)して理事、監事、顧問及びご来賓の皆様ご参加のもと開催されました。この二年間コロナの為通常の形で開催できませんでしたが、久しぶりの通常開催となりました。高野会長が議長となり報告事項、決議事項などが滞りなく承認されました。



大西常任顧問 挨拶



総会風景

3年ぶりの町田さくらまつり 4月2日(土)～3日(日)

コロナ禍により2年続けて中止だったさくらまつりが3年ぶりに開催されました。さくらまつりは、恩田川、芹ヶ谷公園、尾根緑道の3カ所で実施されますが、文化協会は尾根緑道会場に参加しています。初日は好天に恵まれ中央広場では、開会式後にぎやかに各参加団体の舞台が行われ、出店も大勢の人で賑わっていました。ところが翌3日(日)は朝から天候がくずれ、かなり強い雨模様になり舞台もやむなく中止、午後からテントを撤収せざるを得なくなりました。大変残念でしたが、思い出に残るさくらまつりでした。



開会式(いわせ市議会副議長)



桜の下で舞う(舞踊連合会)



2日目、雨に濡れる菜の花と桜

懇親会&第二回落語文化に親しむ会

6月12日(日)レンブラントホテル東京町田で定時社員総会が午前中に行われ、午後から懇親会と研修事業として第二回落語文化に親しむ会が開催されました。



会場を和ませるフラ



ウーロン茶で乾杯



らん丈コーディネーター



三遊亭窓輝師匠

新理事よりご挨拶

6月12日の総会で浅野目明堂(町田市吟詠連盟)、倉橋幸二(町田市囲碁連盟)が理事を退任し、新たに次の3名の方が理事に就任しました。

■町田市民謡協会 飯田俊孝(米谷孝俊)

福島県会津若松市の出身で、東京消防庁で消防官を勤め10年前に定年となり現在は尺八に勤しんでおります。尺八は40歳から始めて30年になります。町田市民謡協会に所属していた私の先生が亡き後、会を継ぐ形で民謡協会の一員として民謡を続けております。この度理事をとのお話をあり果たせるか心配ではあります、微力ながら頑張っていきたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



■町田市吟詠連盟 竹井敏夫(竹井鶴道)

詩吟は50歳の時に縁があって始めました。吟暦20年ちょっとですが、詩吟では30年～40年のキャリアの人が当たり前におりますので、まだまだ駆け出し者です。

吟詠連盟の理事として5年を過ぎ、やっと組織的なことを理解し始めた処ですが、文化協会の理事としてまた一から勉強したいと思っております。



■NPO法人町田演劇鑑賞会 会長 大谷光雄

町田演劇鑑賞会は38年目になります。多くの方々に会を知っていただき、活動上での連携、協力を推し進めるべく昨年4月町田市文化協会に加入させていただきました。町田の文化を支える力強いネットワークを持つ町田市文化協会への期待はますます大きくなっています。市との協調促進など改革に邁進している中、この度理事にとのお話を受けて微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



第6回町田三田会美術展

町田市文化協会副会長 三竹和行

4月13日(水)～17日(日)横浜市みどりアートパークギャラリーにて開催。町田市美術協会から坂本誠司、三竹和行、尾崎義之、宮内純子の4名が出展しました。会場には三竹和行作成の花入れに町田華道協会の鈴木京泉、須山庸泉先生に花を生けていただき華やかな会場を演出し大好評でした。



町田市民謡協会設立40周年記念演奏大会

町田市民謡協会会长 志賀叶祥

4月24日(日)町田市文化交流センターで開催。コロナウィルスのため2年越しの大会ですが、当協会関係者のみでの開催となりました。次は秋の文化祭に向けて準備します。



華道協会展を終えて

町田華道協会会长 鈴木螢梢

6月18日(土)～19日(日)コロナ禍の中で、三年ぶりに第69回 町田華道協会展を町田市文化交流センターで開催できました。花を愛する仲間や、友人、地域の方々が会場の前で検温されて係から案内されます。中に入るなり、植物の香りが幸せを運んでくれます。わーキレイ、感動の言葉が聞こえます。植物のもつ生命力が、造形美や自然の美しさに、力強く優しさを伝えてくれました。6月を代表する紫陽花、ウクライナの国花ひまわりなど、夏の花が季節を感じます。町田市長のことばに、生け花の魅力は、日本の伝統文化に深く根ざし、精神性や礼儀作法に結びついているとありました。文化交流センター5Fで茶道会と今回も心の安らぎを感じていただけたら嬉しい限りです。



俳句展も同時に開催されました



俳句連盟 三遊亭らん丈会長



手伝いに来てくれた支援室の皆様



春季吟詠大会

町田市吟詠連盟 竹井鶴迢

6月19日(日)木曾山崎コミュニティセンター・ホールで開催。東京都大会で入賞した青少年吟詠をはじめ各会派の様々な吟詠、本当はさくらまつりでやりたかった詩吟の紹介のための構成吟などが披露されました。見学者も少しずつ増えてきた大会になりました。



青少年吟詠出吟者



緑神会 合吟



90歳以上高齢者表彰

令和4年 第44回「町田市民文化祭」秋の催し 概日程

町田市民ホールが、来年1月まで改修工事のため会場が分散します。

詳細は文化祭チラシやホームページなどでご確認ください。

日 程		参 加 团 体 名		会 場		
		舞 台	展 示 他			
6月	18(土)・19(日)		華道協会・俳句連盟	文化交流センター		
9月	26(月)・27(火)	演劇鑑賞会		麻生市民館		
10月	1(土)・2(日)	音楽の泉 町田Jazzを楽しむ会		まほろ座MACHIDA		
	5(水)	ナベ音楽協会	・人形文化連盟 ・むかし袋の会 ・WHAIS(7~9) ★陶芸展示 ★ワークショップ	和光大学ポプリホール鶴川		
	6(木)	舞踊連合会				
	7(金)	ハワイ音楽とフラを楽しむ会				
	8(土)	シャンソン文化協会				
	9(日)	楽友協会				
	10(月・祝)	ウエルカムコンサート 10時～ 記念式典				
		《囲碁大会》 《映画上映会》				
		岩田マンドリーノ・シンフォニカ				
	11(火)	吟詠連盟				
11月	12(水)～16(日)		書道連盟 美術協会	国際版画美術館		
	16(日)		茶道会	文化交流センター		
11月	27(日)	民謡協会				

個人・団体情報

町田茶道会のお茶会をご案内いたします。

■「月例茶会 お茶席の設えを楽しむ茶会(予約制)」

7月17日(日)「立礼席 けやき」 席主:江戸千家 倉持宗江

9月18日(日)「広間席 山吹」 席主:裏千家 都川宗久

10月16日(日) (文化祭茶会)

「広間席 山吹」 席主:裏千家 北見宗晴

「立礼席 けやき」 席主:裏千家 青木宗裕

「サルビア」 親子茶会(体験コーナーあり)

時 間 ①10:00 ②10:50 ③11:40 ④12:30 ⑤13:20 ⑥14:10

(10月文化祭茶会の予約時間についてはお問い合わせください)

会 場 プラザ町田ビル(町田市文化交流センター5階)

御茶券代:1席 1000円 文化祭 親子茶会、体験:1人500円(小学生以下無料)

申込み

電 話 044-988-1757(事局)

メール machida.sado@gmail.com

■研修「講演会」

日 時 令和4年8月8日(月) 13時30分～15時

講 師 町田市立博物館館長(愛知県陶磁美術館総長)

伊藤嘉章氏

演 題 「日本人はなぜフィンガーボウルの水を飲んだのか」

会 場 町田市文化交流センター 5階「けやき」

会 費 1800円

参加申込み

電 話 090-9533-8162(青木)

メール machida.sado@gmail.com

締 切 令和4年7月31日(日)

※お問い合わせ 電話042-779-0253(高野)